

## 講座仙台学 2018 において「仙台の地名と災害」と題して講演しました(2018/2/3)

テーマ：学都仙台コンソーシアム、公開講座、仙台学、地名、災害

場所：仙台市市民活動サポートセンター6階セミナーホール

2018年2月3日、学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス主催の講座仙台学2018—仙台の過去・現在・未来—において、「仙台の地名と災害」と題して当研究所 情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野の佐藤健教授が講演を行いました。定員80名の募集でしたが、当日は97名が来場し、熱心な質疑応答も行われました。

東日本大震災の発生以降、地名と災害との関係性の注目が高まっている中、自分たちが暮らす身近な地域の自然条件と人々の生活とのかかわりについて歴史を含めて深く理解することの重要性を指摘しました。その学びのプロセスにおいて、今は使われなくなった旧地名に特に価値を見出すことができることを、仙台市内のいくつかの地名を具体的に取り上げて解説しました。取り上げた事例は以下の通りです。

- ① 鹿野の地名の由来は動物の「鹿」なのか？
- ② 泉崎の地名と伝説
- ③ 鍋田・中谷地
- ④ 富沢館と「館」という地名
- ⑤ 大野田の字名（袋）とその由来

文責：佐藤 健（情報管理・社会連携部門）